

腎臓内科

【スタッフ】

坂井尚二、田中洋澄

【概要】

スタッフは中村亜輝子医長退職により2名体制となりましたが、透析センターの診療を、泌尿器科藤井中央法医長と協働して行うようになりました。

診療活動は、専門内科として腎疾患や透析療法を中心に行っていますが、当院に常勤医のいない専門内科の呼吸器疾患や、糖尿病のコントロールや治療、多臓器にわたる重症疾患の救急対応など、総合内科としての治療も担当しています。

また、第二種感染症指定医療機関として、下関地区で発生した新型コロナウイルス感染者の血液透析を感染症病棟の個室にて25回行いました。

糖尿病をはじめ、生活習慣による疾患の増加、超高齢社会を反映して、高齢者の慢性腎不全と透析導入が特に増加しています。そのため、福祉介護支援の重要性が増し、多職種で地域包括ケアに対応しています。特に血液透析では、福祉介護スタッフによる通院援助など、地域で疾患を看る体制づくりを進めています。実際の診療現場では看護師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士などのコメディカルとの協力を密にして、高品質な治療の提供を目指しています。特に透析センターでは、個々の病態に応じた治療ができるように心がけています。また、日常診療だけでなく、教育面では、研究会・学会での発表をコメディカルと共に行之、研修医の指導にも力を注いでいます。

【診療】

外来は、週4日（火・水・金曜日午前、木曜日午前・午後）行っています。そのほかにも、急性疾患や緊急時、院内外からの紹介には、常時対応しています。

透析センターでは、32床を月・水・金曜日に午前・午後の2クール、火・木・土曜日は原則午前の1クールで運営し、常時約100名の患者さまが血液透析を受けています。また総合病院としての使命として、他の透析施設から各科に入院となる患者さまを積極的に受け入れています。整形外科・脳疾患はもとより、心・下肢血管のインターベンション治療目的の循環器疾患の入院が増加傾向にあります。入院・外来維持透析の他に、種々の分野で必要となる急性血液浄化療法に対しても、透析センター並びに救命センターにて対応しています。また、在宅治療であるCAPD（腹膜透析）の管理も行っています。

透析センターの腎代替療法選択外来では、腎移植についても積極的に説明するよう心がけ、対象者を大学病院に紹介しています。今年度は2例の生体腎移植が施行され、経過は良好です。また、末期腎不全の腎代替療法（腎移植、血液透析、腹膜透析）についても、個別に説明を行っています。

腎疾患はできるだけ腎生検を施行し、EBM（Evidence-Based Medicine：根拠に基づく医療）に基づいて、専門的治療を行うようにしています。IgA腎症に対しては、症例により

扁桃腺摘出術、ならびにステロイドパルス療法を積極的に行い、腎炎の改善、寛解に取り組んでおり、寛解例もみられるなど良好な成績をあげています。

遺伝性疾患である ADPKD（多発性嚢胞腎）は、新たな薬物治療（トルバプタン：バゾプレッシン V2 受容体拮抗薬）を取り入れており、腎嚢胞の増大を抑制し、腎機能障害の進行抑制と合併症対策に取り組んでいます。

慢性腎不全の予防や治療に密接な関連のある高血圧、心不全、糖尿病の治療は、専門医との連携をはかりながら、特に食事治療の重要性を考え、栄養指導、自己管理指導を保存期より積極的に行っています。

CKD（慢性腎臓病）の治療については、全身疾患として診るよう心がけており、早期からの予防に有効な患者さまやかかりつけ医への啓蒙活動も、腎臓内科の重要な責務と考えています。その一環として、紹介の患者さまには個別に腎臓病専門のスタッフによる栄養指導を受けていただいています。また、早期発見には検診での尿異常など、一般医と腎専門医との連携が必要です。特に高齢者においては潜在的に腎機能低下を有しており、わずかな誘因で急速に腎機能低下を招く危険性があります。早期診断、治療には、今後とも地域の医療機関の連携を深めて治療にあたっていく必要があると考えています。

今後も、患者満足度向上のみならず、予防や早期発見に重要な地域の医療機関との連携を強化することで、紹介元の先生方の期待に応えられるよう努めてまいります。

【入院患者統計】（令和 2 年度）

病 名	慢性腎不全	80
	急性腎不全	6
	慢性腎炎・ネフローゼ症候群	21
	電解質異常	5
	尿路感染症	4
	心不全	13
	糖尿病・糖尿病腎症	12
	シャントトラブル	88
	呼吸器感染症	13
	その他	27
	総症例数	269
治 療	内シャント造設術	54
	CAPD 手術	0
	PTA（経皮的血管造成術）	82
	経皮的腎生検	12
	血漿交換療法	0
	血球成分除去療法	6
	腹水濾過濃縮再静注法	23
	持続的血液透析濾過	73
	総件数	250

【業績集】

<学会・研修会>

開催年月日	演題名	演者	共同演者	学会名	場所
2020.11.2-24	運動療法による身体機能と QOL 向上効果の検討	安井智恵 ²⁾	行壽元子 ²⁾ 市川智春 ²⁾ 木下修平 ³⁾ 坂井尚二 ¹⁾	第 65 回日本透析医学会学術集会・総会	WEB 開催
2020.11.2-24	当院の臨床工学技士によるシャント PTA 介入の評価	藤田忍 ⁴⁾	三田井盛将 ⁴⁾ 佐々木毅 ⁴⁾ 田中洋澄 ¹⁾ 中村亜輝子 ⁵⁾ 坂井尚二 ¹⁾	第 65 回日本透析医学会学術集会・総会	WEB 開催

腎臓内科¹⁾ 看護部²⁾ リハビリテーション部³⁾ 臨床工学部⁴⁾ 中村クリニック⁵⁾